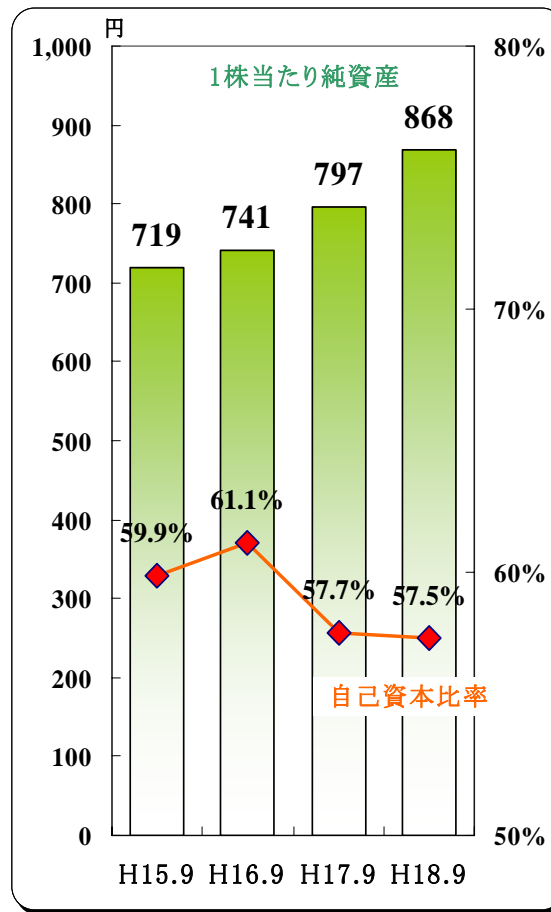
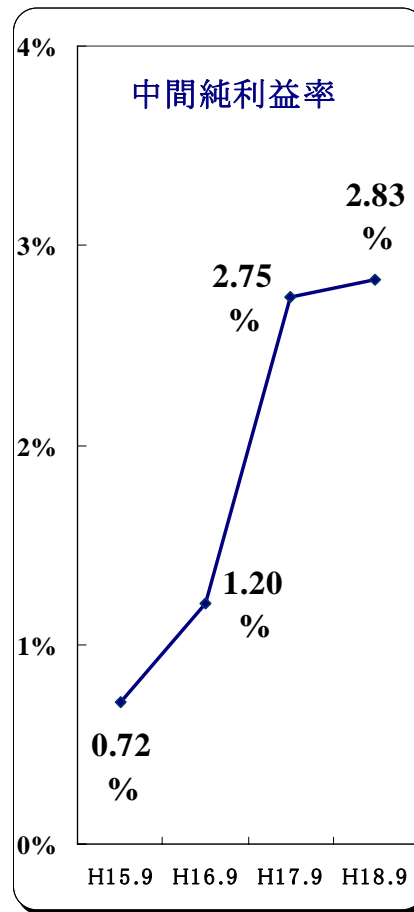
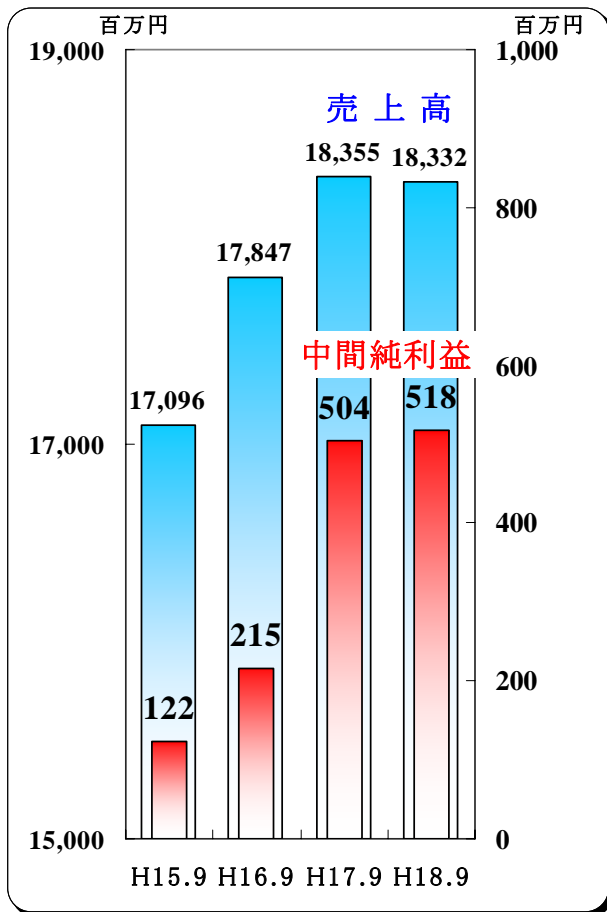


平成18年10月27日



平成18年9月中間期 決算説明会資料

主な経営指標の推移 当社の特徴



売上高及び中間純利益・・・当中間期は減収・増益。高利益率製品売上増加に伴い利益率改善傾向。

安定した財務体質・・・1株当たり純資産は増加傾向。自己資本比率は相対的に高い。

貸借対照表の主な増減(資産)

科目	当中間期末	前期末	前期末(H18.3) との増減	主な増減理由
流動資産	百万円	百万円	百万円	
現金及び預金	2,141	1,668	473	
受取手形	436	655	△219	
売掛金	12,552	12,326	226	
棚卸資産	3,043	2,642	401	仕入販売商品(電子材料関連)の在庫が517百万円増加
繰延税金資産	13	125	△112	
その他	479	121	358	
貸倒引当金	△21	△24	3	
固定資産				
有形固定資産				
建物	2,097	2,080	17	
機械及び装置	959	1,007	△48	
土地	240	240	0	
その他	379	306	73	
無形固定資産				
ソフトウェア	17	20	△3	
ソフトウェア仮勘定	199	199	0	基幹システム開発に係る支出(当期増減なし)
その他	4	5	△1	
投資その他の資産				
投資有価証券	5,150	5,778	△628	
関係会社株式	56	—	56	香港子会社設立に伴う出資
差入保証金	1,570	1,537	33	
その他	160	156	4	
貸倒引当金	△70	△72	2	
資産合計	29,412	28,775	637	

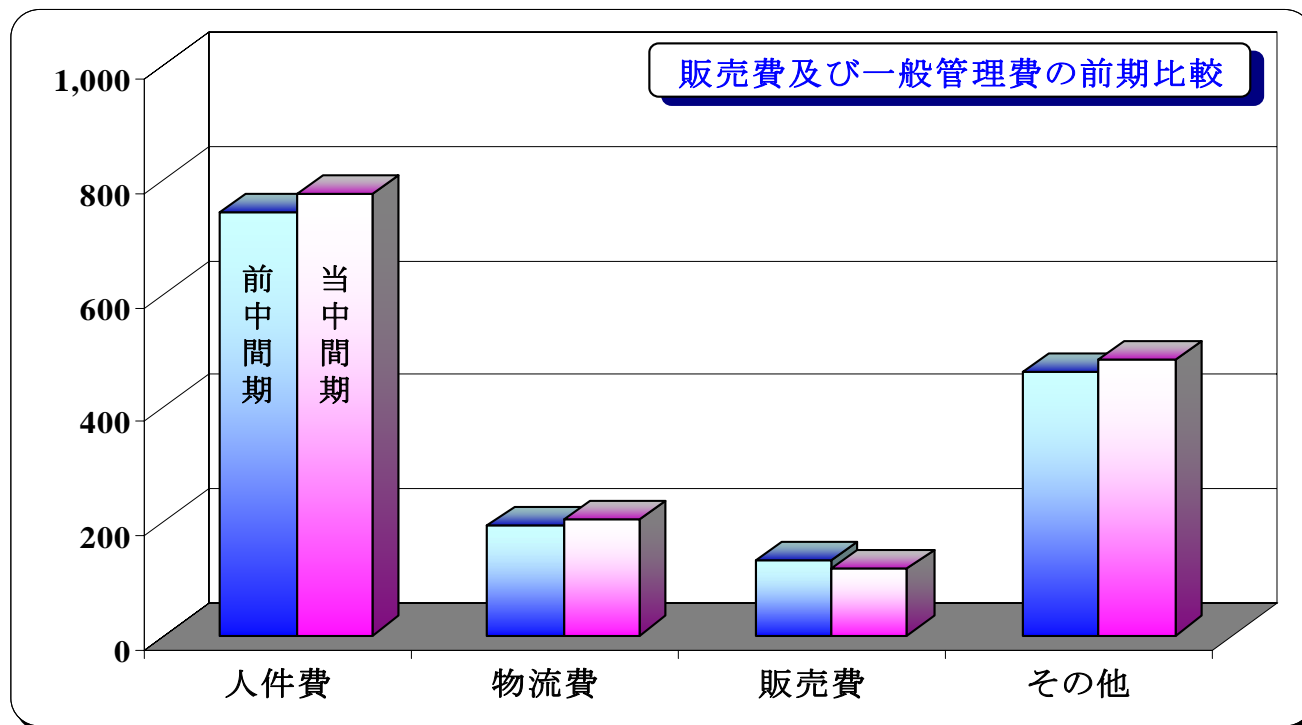
貸借対照表の主な増減(負債)

科目	当中間期末	前期末	前期末(H18.3) との増減	主な増減理由
流動負債	百万円	百万円	百万円	
支払手形	381	684	△303	
買掛金	7,651	6,556	1,095	
1年以内長期借入金	162	387	△225	
未払法人税等	159	40	119	繰越欠損金解消により課税所得が発生したため
賞与引当金	202	190	12	
設備関係支払手形	12	133	△121	
その他	725	579	146	
固定負債				
長期借入金	1,800	1,600	200	
退職給付引当金	620	679	△59	
役員退職慰労引当金	68	124	△56	
繰延税金負債	697	1,115	△418	
その他	9	9	0	
純資産				
資本金	5,115	5,115	—	
資本剰余金	4,886	4,886	—	
利益剰余金	5,236	4,816	420	
自己株式	△30	△26	△4	
その他有価証券評価差額金	1,711	1,882	△171	
繰延ヘッジ損益	0		0	
負債・純資産合計	29,412	28,775	637	

損益計算書の主な増減(1)

科目	当中間期	前中間期	前中間期(H17.9) との増減	主な増減理由
	百万円		百万円	
売上高	18,332	18,355	△23	仕入販売(+312百万円) 製造販売(△335百万円)
売上原価	16,260	16,116	144	
売上総利益	2,071	2,238	△167	
売上総利益率	11.3%	12.2%		仕入販売増加したものの、製造販売(その他)の減少による利益率の低下
販売費及び一般管理費	1,581	1,527	54	
営業利益	490	710	△220	
営業外収益	21	44	△23	
営業外費用	34	30	4	
経常利益	477	724	△247	
特別利益	6	16	△10	
特別損失	17	226	△209	前期に減損損失173百万円計上
税引前中間純利益	466	515	△49	
法人税、住民税及び事業税	142	11	131	繰越欠損金解消に伴う課税所得の発生及び繰延税金資産の積み増し
法人税等調整額	△193	—	△193	
中間純利益	518	504	14	

損益計算書の主な増減(2) 販売費及び一般管理費



人件費

新規採用による人員増加及び業績回復による賞与支給額の増額によるものであります。

物流費

仕入販売の売上増加に伴う運輸倉庫費の増加によるものであります。

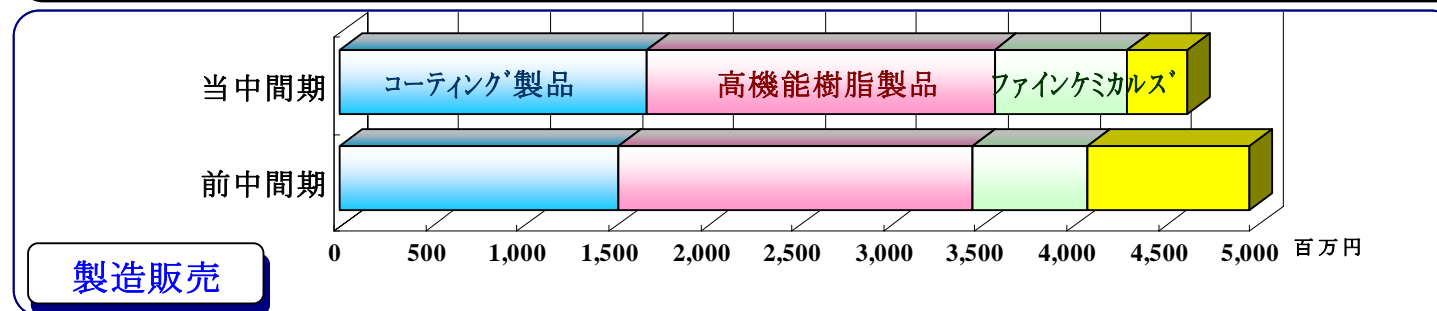
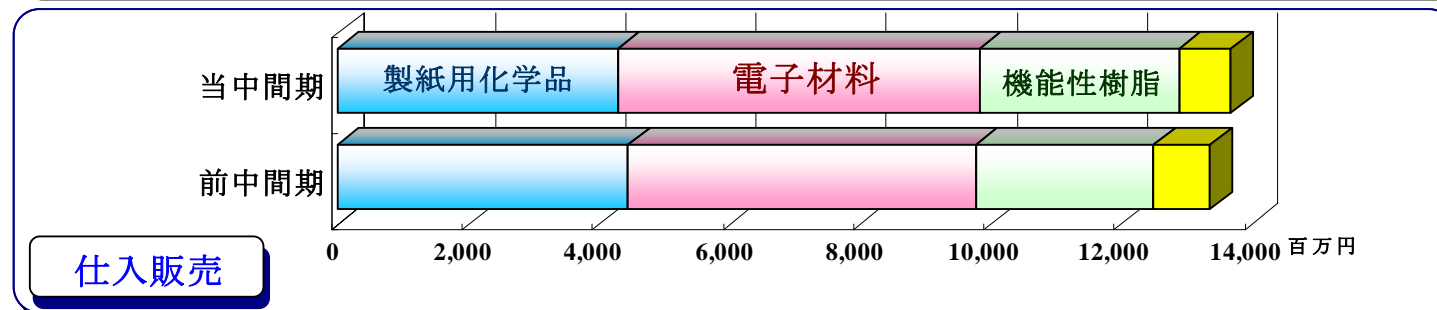
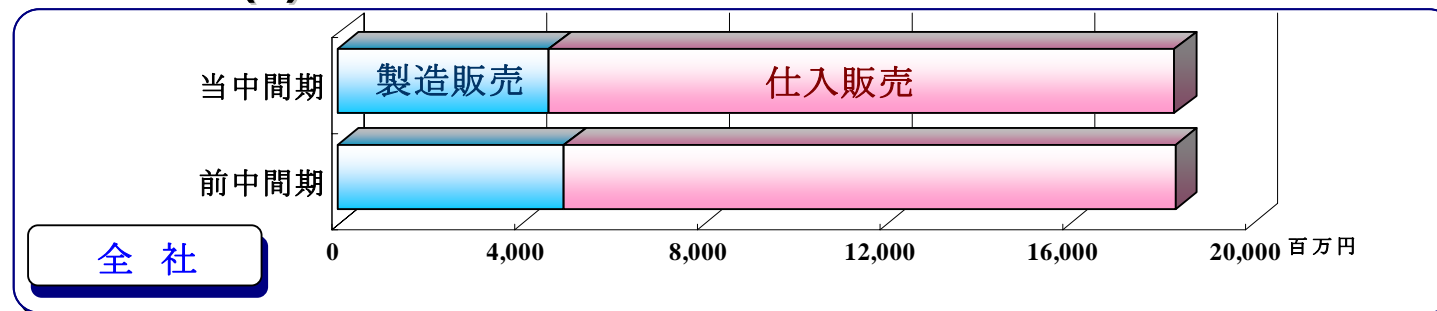
その他

新規製品開発に要した試験研究費の増加、設備投資による減価償却費の増加によるものであります。

キャッシュ・フロー計算書の主な増減

科目	当中間期	前中間期	前中間期(H17.9) との増減	主な増減理由
	百万円		百万円	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,037	356	681	
税引前中間純利益	466	515	△49	
減価償却費	244	227	17	
減損損失		173	△173	
売上債権の増加額	△7	△582	575	
棚卸資産の増加額	△400	△426	26	
仕入債務の増加額	792	488	304	期末日が休日による支払額の減少
その他	△58	△39	△19	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△439	△655	216	
有形固定資産の取得	△221	△50	△171	
無形固定資産の取得	△138	—	△138	基幹システム開発に係る支払
投資有価証券の取得	△10	△591	581	
その他	△70	△14	△56	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125	423	△548	
長期借入金の返済	△225	△525	300	
長期借入による収入	200	1,050	△850	
配当金の支払額	△97	△97	0	
その他	△3	△4	1	
現金・現金同等物の増減額	473	124	349	

売上高の分析(1) 概要



電子部品業界向けの積極的な販売活動や、より高付加価値なコーティング製品の生産・販売に向けた生産設備を増強し、高機能フィルムの海外を中心とした需要の急増に対応したことや、高機能樹脂製品も自動車電装部品向けが堅調に推移し、それぞれ増収となりましたが、一部の製品で、供給過剰による海外での在庫調整や価格競争激化の影響を受け大幅な減収となりました。

当社の主な製品 概要

コーティング製品



ソマタック®WA

工程用微粘着フィルムです。FPC・チップコンデンサー製造工程用バックアップフィルムとして利用されています。



ソマタック®TE

加熱剥離タイプの熱発泡粘着フィルムです。FPC・チップコンデンサー製造工程用バックアップフィルムとして利用されています。

高機能樹脂製品



エピフォーム® 電子部品用

各種電子部品に使用する樹脂です。



ソマコート® IRシリーズ

表面実装用の熱硬化型接着剤です。

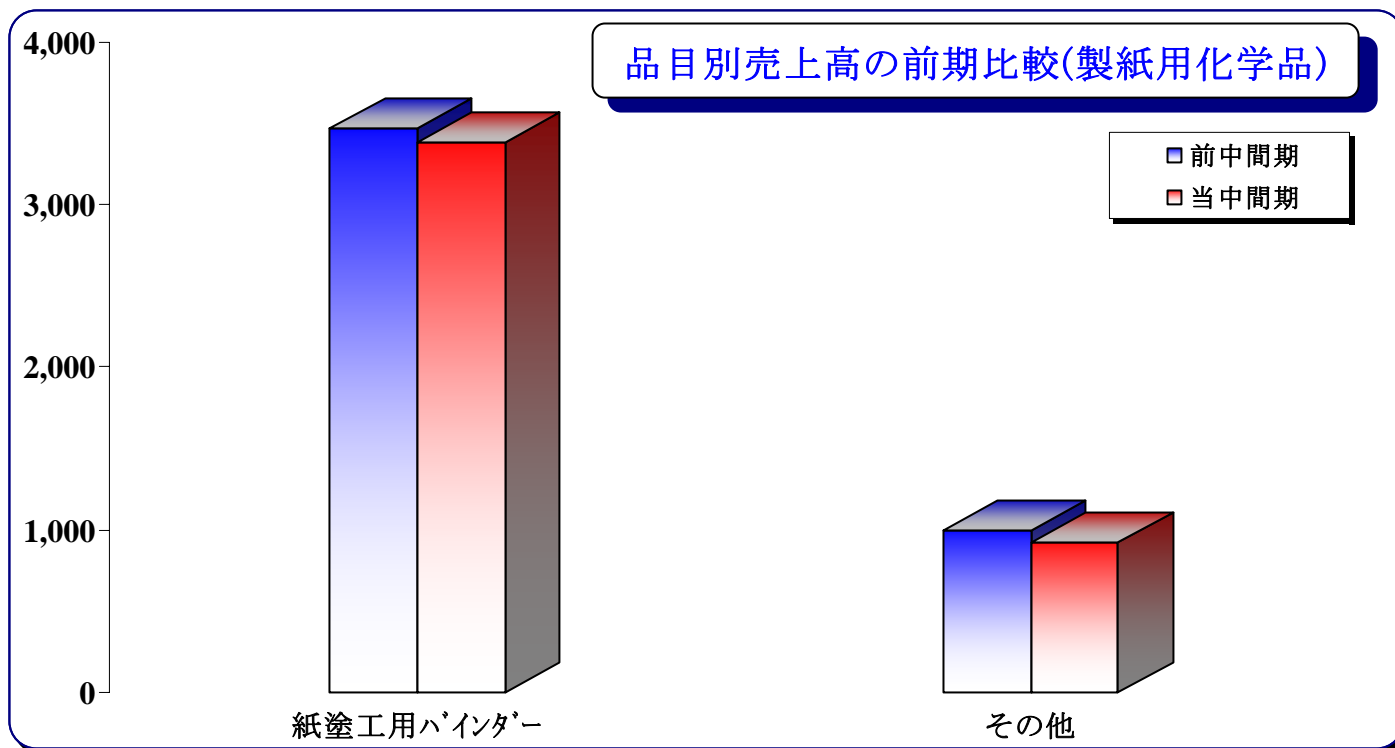
ファインケミカルズ



ソマレックス®

塗工カラーに添加することで保水性及び粘弾性の改善により、塗工紙物性の向上及び塗工操作性を改善する薬剤です。

売上高の分析(2) 仕入販売(製紙用化学品)



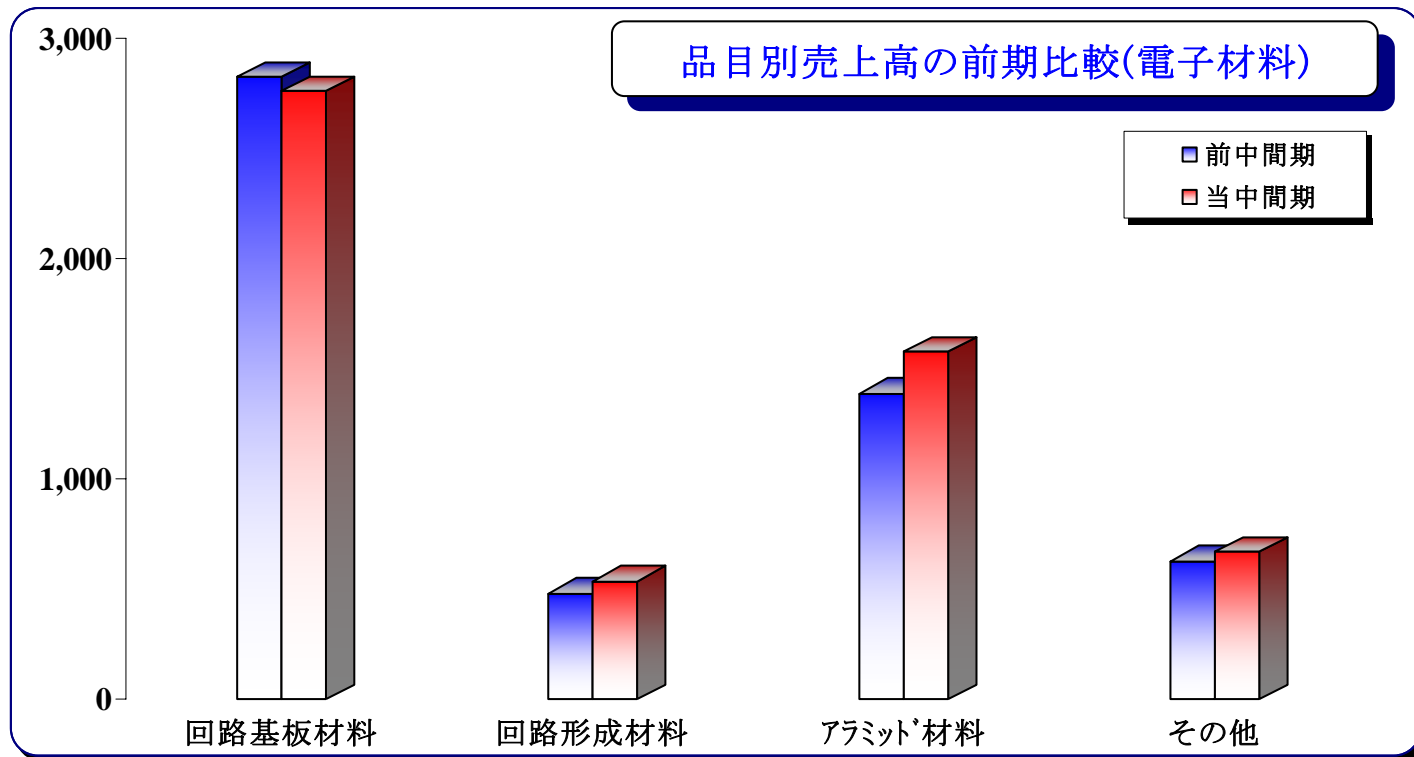
塗工用バインダー

製紙業界の市況が順調に推移するなか、販売価格の上昇があったものの、メーカーからの供給が需要の伸びを吸収するに至らず減収となりました。

その他

新規採用があったものの、石化モノマーでメーカーからの供給制限を受け減収となりました。

売上高の分析(3) 仕入販売(電子材料)



回路基板材料

その基板材料の供給が安定化し、海外携帯電話の第三世代交代需要やパソコン用HDD、DVD等が前年並みに推移しました。

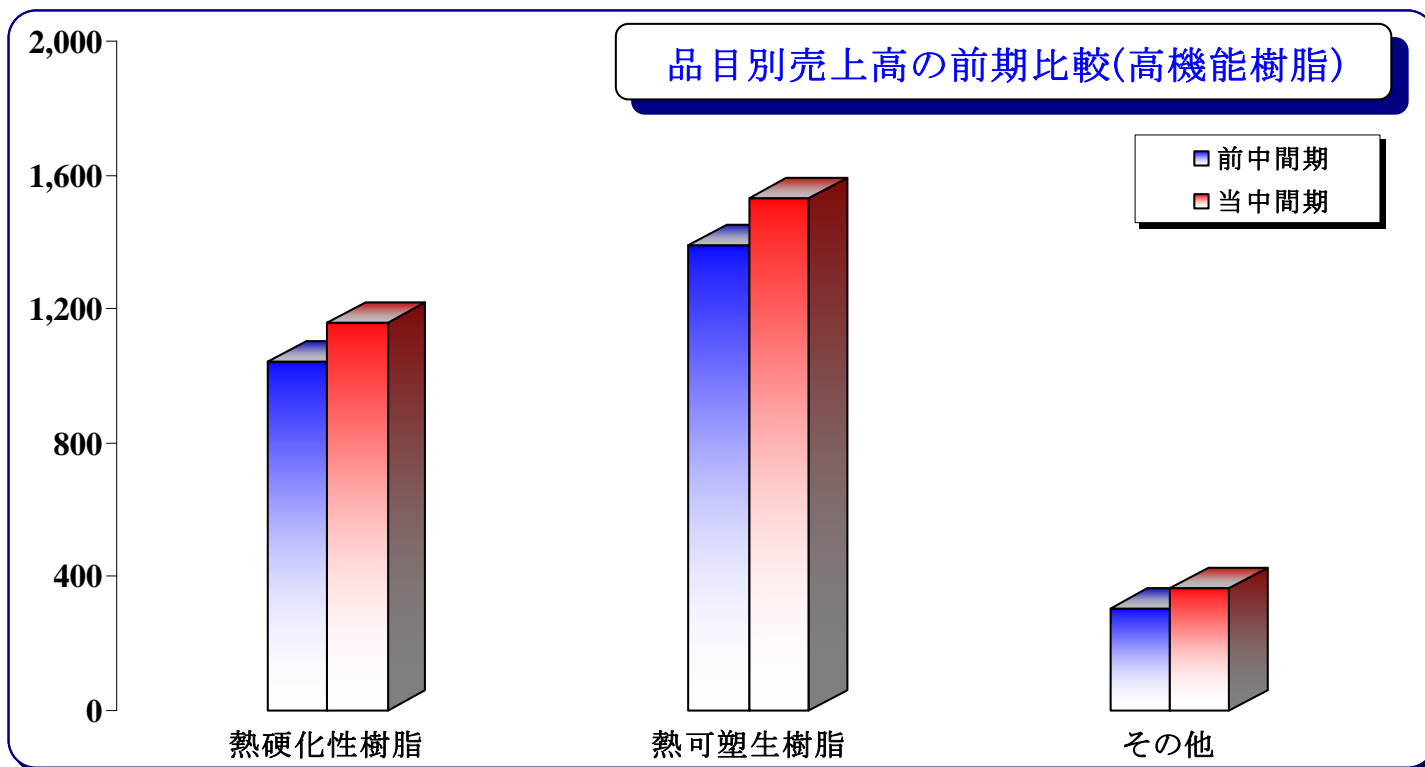
回路形成材料

携帯電話などのデジタル機器向けが一部で海外への生産シフトが進む中、増収となりました。プラズマテレビや液晶テレビ用回路材は、海外向けが落ち込んだものの、国内向けが堅調に推移し横ばいとなりました。

アラミッド材

新規ユーザー採用の他、設備投資の増加に伴い自動車・重電向けが好調に推移し増収となりました。

売上高の分析(4) 仕入販売(機能性樹脂)

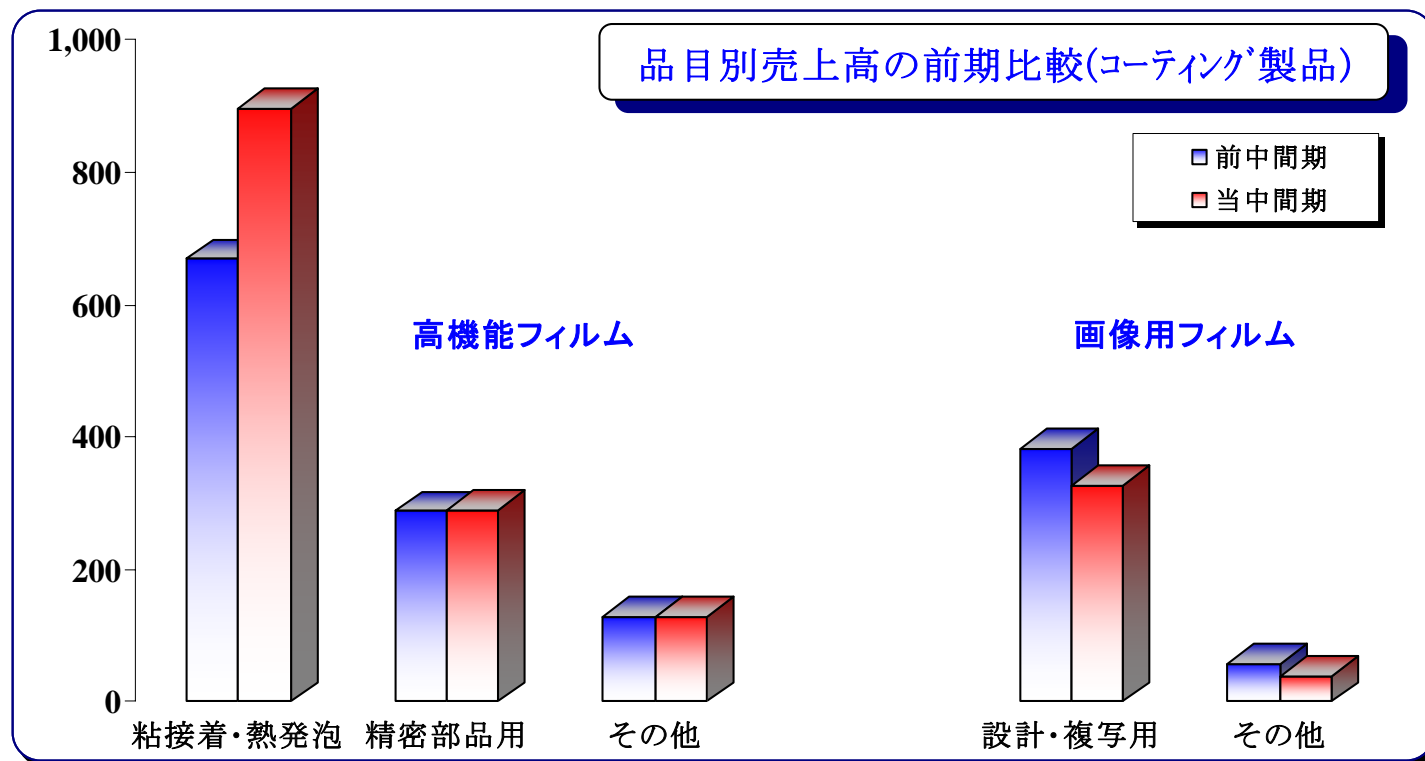
**熱硬化性樹脂**

薄型テレビ等リジッドエポキシ基板関連の半導体パッケージ用基盤が引続き好調を保ち、新規アクリル樹脂の拡販効果が出始め増収となりました。

熱可塑性樹脂

自動車業界の安定化と家電向けエンブラ材料の新規採用が本格化したことにより増収となりました。

売上高の分析(5) 製造販売(コーティング製品)



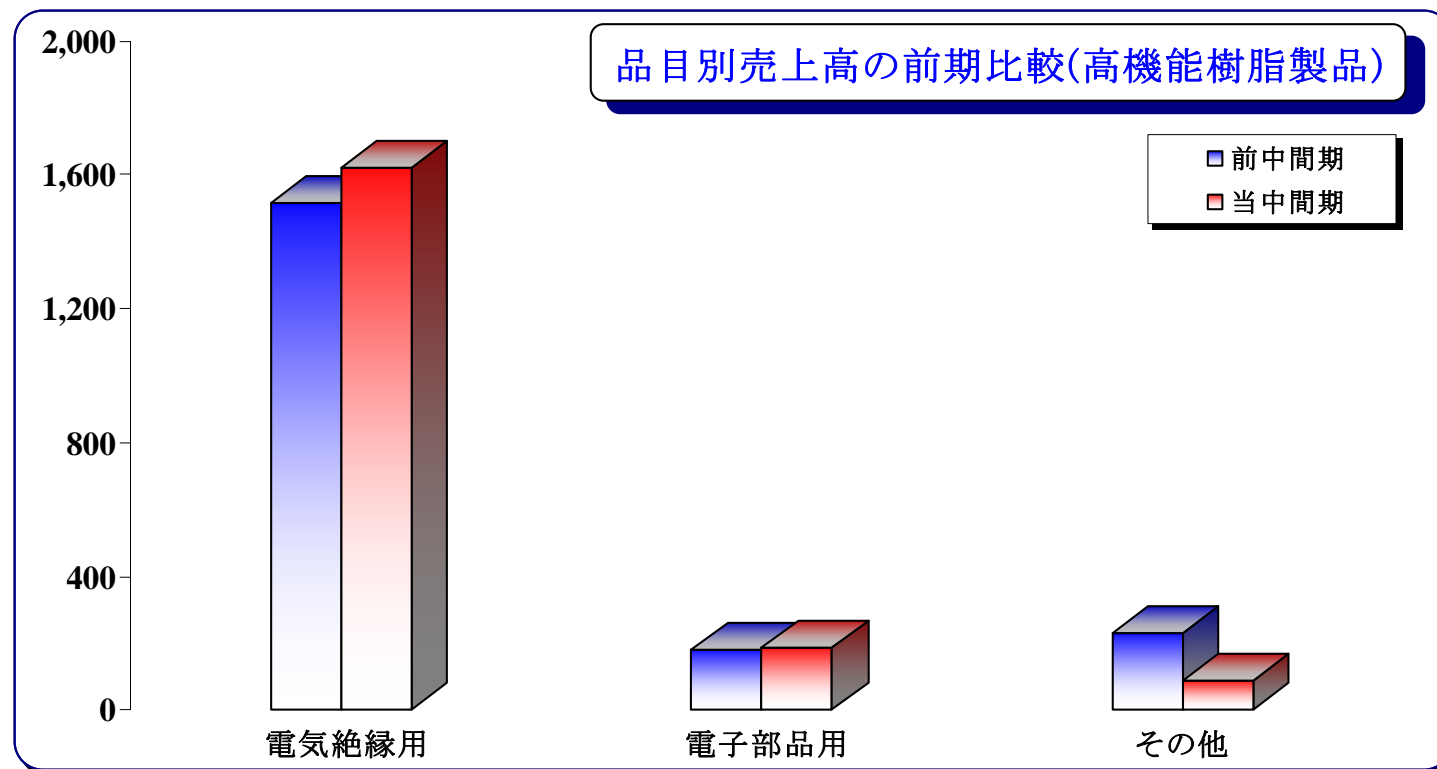
高機能フィルム

電子部品用フレキシブルプリント基板製造工程用フィルムが台湾、中国を中心に需要が急増したことに加え、国内外での新規市場開拓が功を奏して大幅な増収となりました。

画像用フィルム

国内では公共事業削減等による影響もあり若干の減収となり、また、海外でも価格下落の煽りを受け減収となりました。

売上高の分析(6) 製造販売(高性能樹脂製品)



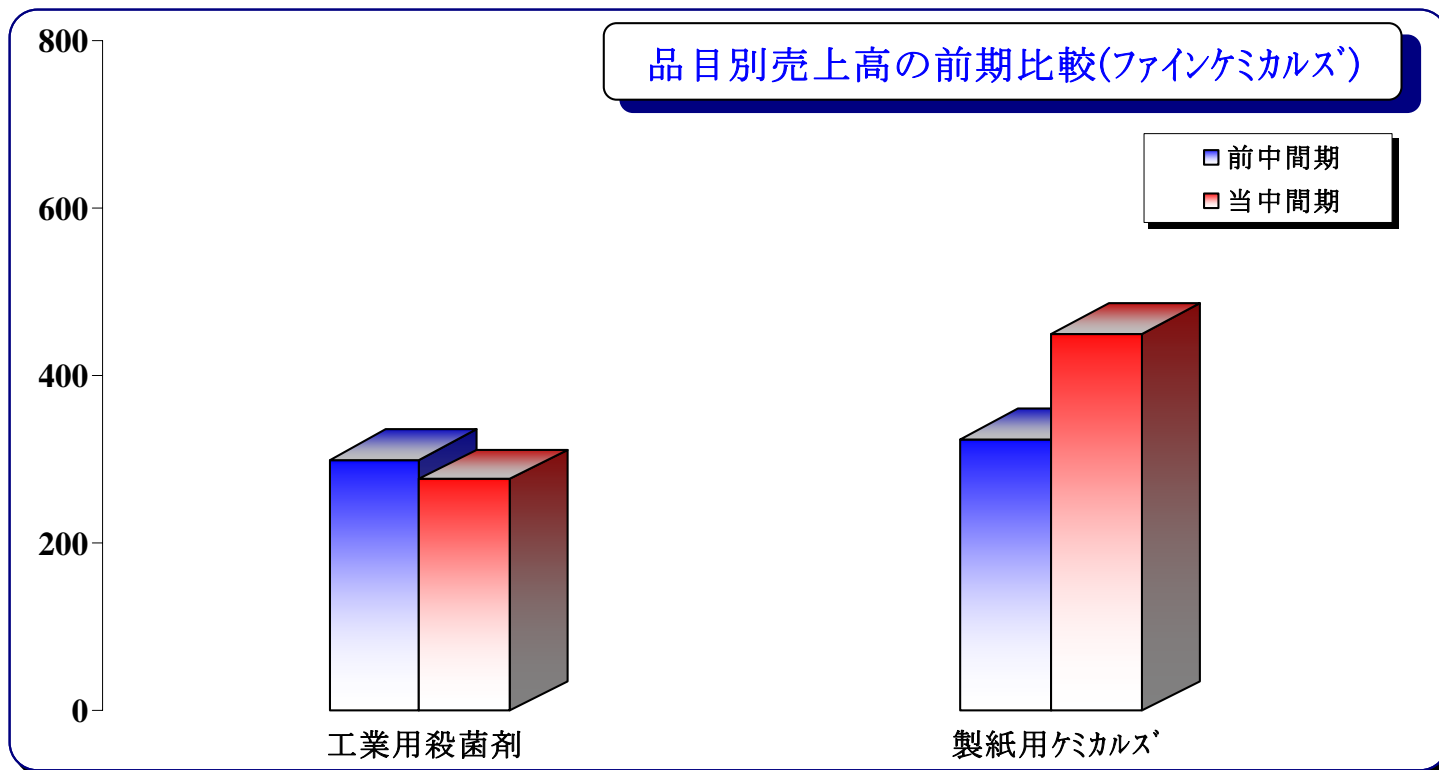
電気絶縁用樹脂

自動車電装部品向けの需要が引き続き堅調に推移し、新規採用や原料高騰による価格転嫁も浸透し増収となりました。

その他

海外市況の価格下落の煽りを受け減収となりました。

売上高の分析(7) 製造販売(ファインケミカルズ)



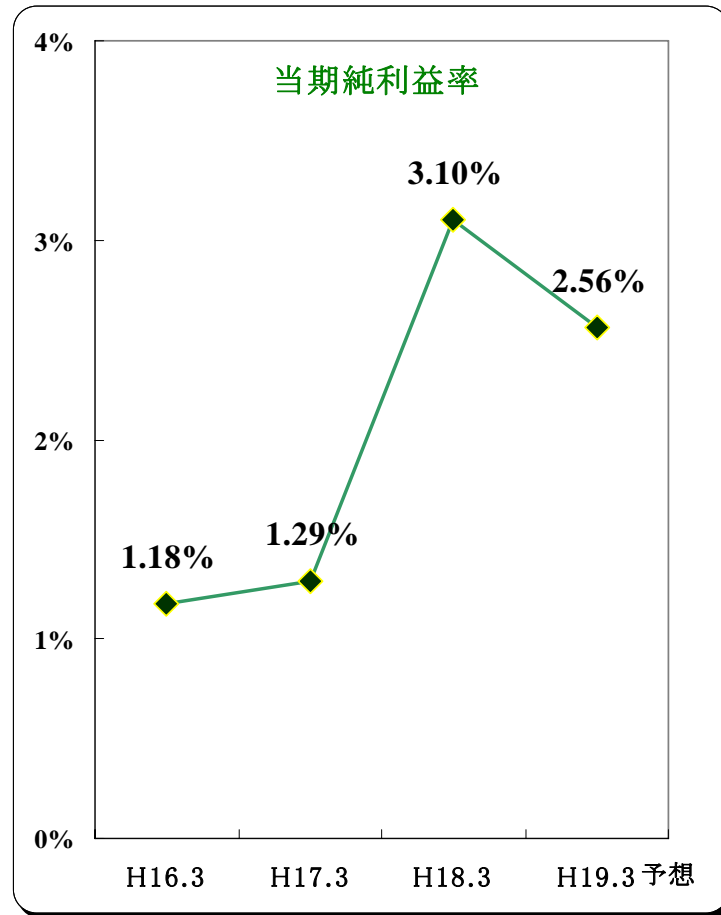
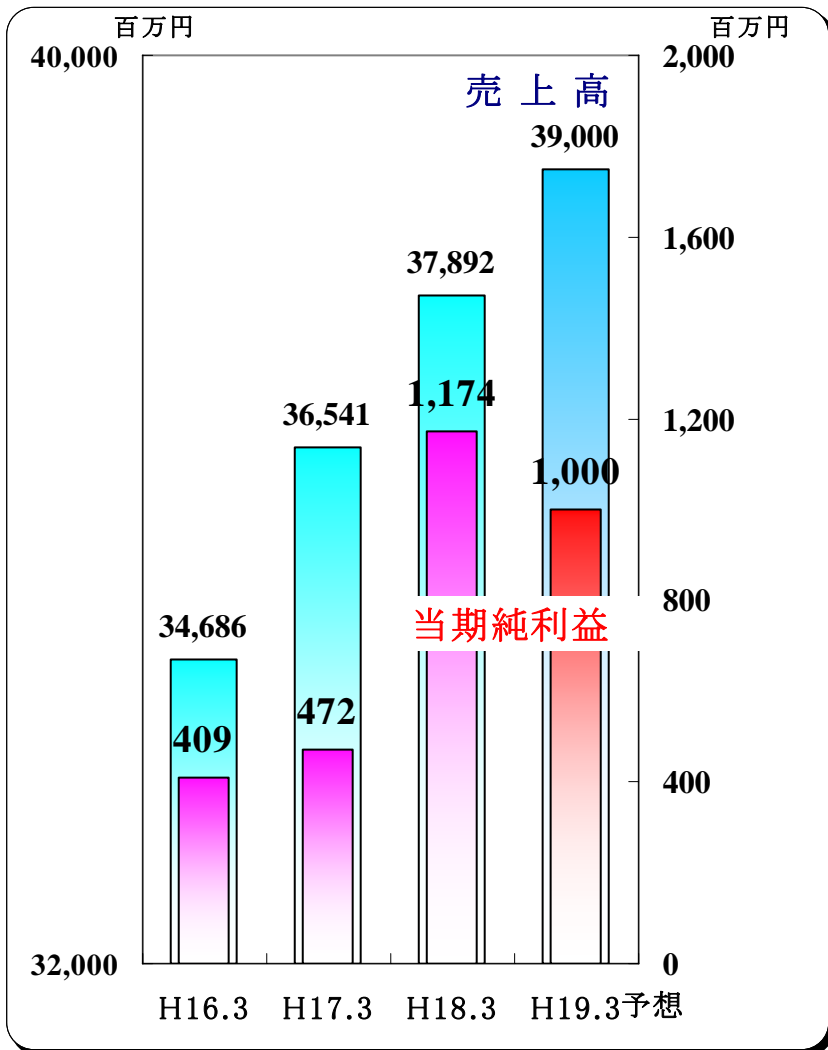
工業用殺菌剤

新規グレードの実績化が遅れたため減収となりました。

製紙用ケミカルズ

新規開発製品の販売を積極的に横展開した結果、増収となりました。

当期の業績予想(通期)



	売上高 百万円	経常利益 百万円	当期利益 百万円
H19.3 予想	39,000	1,300	1,000



ソマールは知恵を生かします

